

## 地域密着型サービス自己評価票

- ・ 指定小規模多機能型居宅介護  
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- ・ 指定認知症対応型共同生活介護  
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

|         |                  |
|---------|------------------|
| 記入年月日   | 平成 20 年 2 月 1 日  |
| 事業所名    | 瑞穂ケアセンターそよ風      |
| ユニット名   | 3階 グループホーム       |
| 事業所番号   | 2370800514       |
| 記入者名    | 職名 管理者 氏名 皆本 昌尚  |
| 連絡先電話番号 | 052 - 882 - 0008 |

## 自己評価票

| 項 目                |                                                                                  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                 | ○印<br>(取り組んでいき<br>たい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                        |
|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| <b>. 理念に基づく運営</b>  |                                                                                  |                                                                                                 |                         |                                                                         |
| <b>1. 理念と共有</b>    |                                                                                  |                                                                                                 |                         |                                                                         |
| 1                  | ○ 地域密着型サービスとしての理念<br><br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている      | 敬愛独自の理念として「七施」を理念に掲げ、利用されている方に少しでも喜んでいただくことを念頭におきサービスをしています。1Fには敬愛観音を奉り年1回縁があり亡くなった方の法要を行っています。 |                         | 施設の見学者や入居希望者・家族・新人の職員など施設に縁のあった方には、この法人の高齢者介護に対する願いを伝えるようにしています。        |
| 2                  | ○ 理念の共有と日々の取り組み<br><br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                         | 法人の職員会議の場でも七施の理念について確認しあえる場になるようすすめています。管理者はよりよく理念が浸透するように会議や書面等で伝えるようにしています。                   | ○                       | 新入職員にも法人の目指すもの、理念をわかりやすく伝え共有の意識になるよう新人職員研修や職員会等の場を活用してより伝えていきたいと思っています。 |
| 3                  | ○ 家族や地域への理念の浸透<br><br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | 家族会や運営推進会議の場で資料を用意し、説明を行っています。                                                                  | ○                       | 新しい家族の方にも伝えられるよう、入居時にも重要事項説明書等に盛り込み伝えられるようにしていきたいと思っています。               |
| <b>2. 地域との支えあい</b> |                                                                                  |                                                                                                 |                         |                                                                         |
| 4                  | ○ 隣近所とのつきあい<br><br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | ご利用者の散歩の付き添いや通勤の行き帰りなどで元気にあいさつを交わしています。                                                         | ○                       | 近所の方でなじみになった方をホームに招待するなどの取り組みを進めていきます。                                  |
| 5                  | ○ 地域とのつきあい<br><br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている   | 地域の防災訓練に参加しています。(近隣の小学校)また、近所の神社のお祭りにも参加者として参加しています。                                            |                         | 継続して地域の皆様が集まる場には可能な限り参加したいと思っています。                                      |

| 項 目                  |                                                                                                            | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                       | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                           |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 6                    | <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>                | 運営推進会議等を通じて地域の代表の皆様と意見の交換をしています。その中で非常災害時（震災時）に協力の相談があり、緊急一時待機場所として1Fフロアの解放を前提にどのような準備を必要とするかを検討している。 |                    | 継続して地域の皆様にとって頼れる施設になるように、話し合いを持ちながら進めていきます。                              |
| 3.理念を実践するための制度の理解と活用 |                                                                                                            |                                                                                                       |                    |                                                                          |
| 7                    | <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>                         | 先回の外部評価の結果から4月より重点改善事項として掲げ、運営者と協議し方針を決め職員には書面を作成し、会議の場を持って伝えている。                                     |                    | 引き続き外部評価は、客観的に自分たちの施設を振り返る良い機会なので前向きに取り組み、それぞれの項目をもって具体的な対応を計画的に進めていきます。 |
| 8                    | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>         | 運営推進会議内でも昨年の外部評価事項について報告し、その上での具体的な改善方法を提案している。また、その中で意見交換を行い意見を計画に反映させている。                           |                    | 引き続き運営推進会議を活用し、地域に必要とされる福祉資源としての理解を深めていただけるよう話し合いの機会を作っていきます。            |
| 9                    | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>                          | 昨年は市の担当職員による実地指導を受けています。また、運営上わからないことは電話等を通じて相談しています。                                                 |                    | 今後も継続してわからないことや迷っていることは市の担当課の方と相談していきます。                                 |
| 10                   | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> | 現在成年後見制度を利用されている方が1人おられますが、職員には十分に制度について伝えることはできていません。                                                | ○                  | 権利擁護や成年後見制度に対して学ぶ機会を設け、職員個々がそれを理解し実践の場で活用していけるようすすめていきます。                |
| 11                   | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている</p>           | 高齢者に関する虐待防止法についても概念や詳しいことまでの指導はできていませんが、それに該当しそうなケアが行われそうなときは管理者より指導を行っています。                          | ○                  | 高齢者虐待防止関連法に対して学ぶ機会を設け、職員個々がそれを理解し実践の場で活用していけるようすすめていきます。                 |

| 項 目                   |                                                                                                                                        | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                          |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|---------------------------------------------------------|
| <b>4.理念を実践するための体制</b> |                                                                                                                                        |                                                                                                  |                        |                                                         |
| 12                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 契約に関する説明と納得</li> </ul> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>            | 契約するにあたっては、十分に家族に説明をし書類に沿って説明し不安・疑問をうかがっています。また、契約に至る前の相談の段階で実地調査やお試し利用等を行い安心して入居できるように取り組んでいます。 |                        | 引き続き、契約をすすめる際の不安や疑問をしっかり受け止め安心して納得してご契約いただけるように努めていきます。 |
| 13                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運営に関する利用者意見の反映</li> </ul> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>           | 玄関にご意見ご要望の受け付けポストを設置し、いつでもうけつけられるようにしています。直接の要望に対しても丁寧に対応し、内容に応じて検討・改善を行っています。                   |                        | 引き続き、意見や要望の言いやすい雰囲気大切に積極的に運営に取り入れていきたい。                 |
| 14                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家族等への報告</li> </ul> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>         | 2ヶ月に1回家族会を開催し、施設の状況やご利用者様の生活の様子を報告し、ご意見ご要望の意見交換を行っています。また、毎月通信を発行し個別の状況も報告しています。                 |                        | 引き続き、家族会を開催していくとともに、生活の様子を報告する形を整えていきます。                |
| 15                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運営に関する家族等意見の反映</li> </ul> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>           | 家族会などを活用し、家族の意見や要望は積極的に取り入れるようにしています。また、家族会の代表者（持ち回り）には運営推進会議にも出席いただいています。                       |                        | 引き続き、家族からの意見や要望を聞ける仕組みを整備していきます。                        |
| 16                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運営に関する職員意見の反映</li> </ul> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>                       | 職員に業務アンケートを行い、職員が日ごろ感じていることは改善についての提案を聞く機会を設けている。また、全体の職員が集まる会を年2回開催するようにしている。                   |                        | 引き続き、現場ならではの意見も吸収し反映させていけるように取り組んでいきます。                 |
| 17                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 柔軟な対応に向けた勤務調整</li> </ul> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | 行事や外出等の企画がある時は、職員の勤務体制を厚くし安心安全に実施できるよう配慮しています。                                                   |                        | 引き続き、利用者様の状況等にあわせて柔軟に対応できるよう取り組んでいきます。                  |

| 項 目         |                                                                                                                  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                                               | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                                  |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 18          | <p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | 職員にとって働きやすいように配慮を行ってききましたが、実質的には離職はあり、状況によってはやむを得ない職員の配置移動（フロー間）は行っています。退職の際には他の職員からやむを得ない事情であることを説明するとともに、残っている職員で頑張ることを伝え安心していただけるようにしています。 | ○                  | 改めて離職を防ぐ対策として、職員がやりがいを持って働ける職場環境づくりに努めていきます。現場職員とのコミュニケーションを密にとり信頼関係づくりを進めていきます。 |
| 5. 人材の育成と支援 |                                                                                                                  |                                                                                                                                               |                    |                                                                                  |
| 19          | <p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>              | 職員には入職時に新人研修を内部で行い、キャリアや必要に応じて外部の研修に参加しています。キャリアアップを希望する職員に研修費用の一部助成なども行っています。                                                                | ○                  | 法人内部でも学べる機会（内部研修）を作り、職員個々が成長していける仕組みを作っていきます。また、外部の研修にも参加できるように取り組んでいます。         |
| 20          | <p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>    | 地域の同業者が集まる連絡協議会等への参加ができるように配慮してもらっています。研修等を通じて他の施設職員との交流を持つようにしています。                                                                          | ○                  | 一般職員が他の施設を訪問したり見学できる機会を設けていきたいと思っています。                                           |
| 21          | <p>○ 職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>                                       | 職員が休憩時間にしっかり休めるように、ホーム内の中に休憩できるスペースを設けました。また、忘年会などは会社からの負担で全員が参加できるように施設内で手作りホームパーティを行っています。                                                  | ○                  | 職員の悩みや困っていることを話せる機会の提供に取り組んでいきたいと思っています。                                         |
| 22          | <p>○ 向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>                           | 職員の業務アンケートやヒヤリングの中で一人一人の将来への希望を聞き、それが実現できるように時間や費用の援助をしています。                                                                                  |                    | 引き続き、職員が向上心を持ち長くここで働けるように進めていきます。                                                |

| 項 目                                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                              | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)                                                                                                 | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                                     |
|-------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b><br><b>１．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |                                                                                                              |                                                                                                                        |                                                                                    |
| 23                                                          | ○ 初期に築く本人との信頼関係<br><br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                   | 入居に至るまでの間に、施設の見学や実態訪問調査を通じて、本人としっかりコミュニケーションをとり今までの生活のことや好きなこと嫌いなこと今困っていることなどを聞き取り、安心していただけるように配慮した受け答えをし、本人理解に努めています。 | 丁寧なコミュニケーションに心掛けご本人の不安や希望・要望を受け止められるよう努めています。相談・面談にはしっかり時間をかけて取り組んでいます。            |
| 24                                                          | ○ 初期に築く家族との信頼関係<br><br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                        | 電話相談から施設見学まで気になることや不安なことなどの質問に積極的に応じています。また、入居にあたって不安なことは共感的に受け止め、話を聞くように努めています。                                       | 家族の想いにしっかり寄り添いながら相談等への対応を行っています。                                                   |
| 25                                                          | ○ 初期対応の見極めと支援<br><br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                                | 本人や家族の主訴を丁寧に受け止め、相談の中で必要に応じて他の専門機関等の紹介も行っています。                                                                         | 本人・家族の想いにしっかり寄り添いながら本人・家族にとって一番良い判断ができるように相談等への対応を行っています。                          |
| 26                                                          | ○ 馴染みながらのサービス利用<br><br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | いきなり入居するのではなく、本人・家族が安心納得をしてからサービスを利用できるようにお試し入居をしていただいています。事前に伺った情報を元に本人にとって安心できる雰囲気づくりに努めています。                        | お試し入居を経過してからの入居を続けていきます。その際には特に前からの入居者の方と新しい入居者がなじみの関係になりやすいような配慮をしています。（歓迎会の実施など） |
| <b>２．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>                             |                                                                                                              |                                                                                                                        |                                                                                    |
| 27                                                          | ○ 本人と共に過ごし支えあう関係<br><br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                        | 生活の中で職員がすべてやるのではなく、ご利用者の方にもできることは気持ちよく参加していただけるように配慮している。一緒に過ごすなかで、コミュニケーション（会話や触れ合い）を大切に馴染みの関係として信頼される関係づくりに努めています。   | 食事作りや掃除などは一人一人の状況に応じて依頼することを配慮し取り組みに参加していただいています。                                  |

| 項 目 |                                                                                            | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                 | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                   |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 28  | <p>○ 本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>         | 職員は家族にとって一番の理解者（共感者）になれるよう、相談や不安に対し丁寧に聞くように努めています。                                              |                        | 家族での苦労や悩みを受け止めながら、新しい生活の場（グループホーム）で良かったと家族と気持ちを分かち合えるように努めていきます。  |
| 29  | <p>○ 本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>             | ご本人・ご家族それぞれから別々に話を伺う機会を設け、それぞれの思いを理解した上で良好な関係の維持・継続ができるように配慮しています。                              |                        | より普段から家族の方が足を運びやすくなるような雰囲気作りを進めていきたいと思います。                        |
| 30  | <p>○ 馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>               | ご利用者の中には家族以外の友人の訪問もあります。また、自分で外出ができる方はなじみの場所に出かけたりクラブ活動に参加したりされています。                            | ○                      | 自分一人では移動が困難な方の希望に対してもご家族と協力して可能な限り実現できるように努めていきます。（○○神社に行きたいなど）   |
| 31  | <p>○ 利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>              | できる限り一人きりにならないように、それぞれの相性を考慮しながらおしゃべりなどを楽しめるように配慮しています。耳の遠い方や声の小さい方には職員が間に入りコミュニケーションの補助をしています。 | ○                      | 病気の進行や気質から一人になりやすい方（特に男性利用者）への対応を、本人の意向に沿いながら集団の場に参加する機会を作っていきます。 |
| 32  | <p>○ 関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p> | 退去された方であっても、いつでも相談できる場として続いていけるように努めています。                                                       | ○                      | 退去されたご利用者・ご家族の方へ施設側からも連絡する機会を設け、近況の把握やアフターケアに努めていきます。             |

| 項 目                            | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                 | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                                    |
|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント     |                                                                                                                 |                        |                                                                                   |
| 1. 一人ひとりの把握                    |                                                                                                                 |                        |                                                                                   |
| 33                             | <p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>                                        | ○                      | 一人ひとりの想いや希望をしっかりと把握し、より本人にとって望む生活になるよう、スタッフ一人一人が日頃の生活の中でニーズを受け止め実現していけるように努めています。 |
| 34                             | <p>○ これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>                                    | ○                      | 引き続き、ご本人やご家族からのお話を参考に、ご本人の生活の歴史の把握に努めています。                                        |
| 35                             | <p>○ 暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>                                          | ○                      | より、スタッフ全員がご利用者一人ひとりの現状を総合的に把握できるように、記録の視点や書き方を統一化していけるように努めています。                  |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し |                                                                                                                 |                        |                                                                                   |
| 36                             | <p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>     | ○                      | ケアプランの中身について検討できる会議の時間を確保し、より個別性を重視したケアプランの作成に努めています。                             |
| 37                             | <p>○ 現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | ○                      | 新たに増えたサービスや取り組みについての内容を、できる限り早くケアプランに反映し、ご家族にも紙面で伝えられるようにしていきます。                  |

| 項 目                                |                                                                                            | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                    | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                          |
|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|---------------------------------------------------------|
| 38                                 | <p>○ 個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>    | 日々、ご利用者一人ひとりに関して個別の記録を行っています。その内容から新たな気づきや実践が行われ、介護計画にも反映されています。                                                   | ○                  | 日々の実践や気づきを情報としてスタッフ全体が共有していけるように、丁寧な記録の徹底に努めていきます。      |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |                                                                                            |                                                                                                                    |                    |                                                         |
| 39                                 | <p>○ 事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>              | ご利用者本人やご家族の要望に合わせて、施設内で医療的なケアや歯科診療・マッサージなどを利用できるように支援しています。外部の事業者と職員が連携を取ることでより日常生活の中でも外部サービスのノウハウを取り入れたケアを行っています。 |                    | 引き続き、その時々々の要望に合わせ可能な限り柔軟に対応を行っています。                     |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |                                                                                            |                                                                                                                    |                    |                                                         |
| 40                                 | <p>○ 地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>             | 生活の中での楽しみとして、ボランティアの方に協力していただき、踊りや演奏の披露をしていただいています。                                                                |                    | 引き続き、地域の資源を活用して皆様の生活の楽しみや安心を提供していけるように努めていきます。          |
| 41                                 | <p>○ 他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>  | 介護保険外のサービスとして、理美容サービス・訪問看護・訪問歯科・訪問リハビリ等のサービスが本人やご家族の希望に応じて利用できるように支援しています。                                         |                    | 引き続き、個々のニーズに合わせて外部サービスが利用できるように支援していきます。                |
| 42                                 | <p>○ 地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p> | 現在のところ権利擁護等の支援について、地域包括支援センターとは協働していません。                                                                           | ○                  | ご利用者の長期的支援を視野に、地域包括支援センターをはじめとした地域支援ネットワークづくりをすすめていきます。 |

| 項 目 |                                                                                                                                           | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                       | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                                                   |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 43  | <p>○ かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>                                               | 入居の際にかかりつけ医の有無と在宅医療総合管理が受けられるかどうかを伺っています。個々の希望に合わせ協力医療機関（いしはらクリニック）への紹介を行っています。                       |                    | 入居される方が一番安心できる医療支援体制ができるよう、本人・家族の希望を優先的に受け入れ引き続き支援を行っていきます。                                      |
| 44  | <p>○ 認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>                                              | 認知症の診断の経過やその後の様子の中で、わからないことや不安に感じることがある場合には大府のセンター等の専門機関に受診することなども提案しています。                            | ○                  | 職員が困ったときなどに相談できるように、専門機関との連携ができるように体制づくりを進めていきます。                                                |
| 45  | <p>○ 看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>                                                             | 訪問看護ステーションエバと看護師による24時間連携を行っており、毎週1回訪問による健康管理を行っています。                                                 |                    | 引き続き、訪問看護ステーションとの連携を継続していきます。                                                                    |
| 46  | <p>○ 早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>                      | ご利用者が入院した際には、家族・主治医との連絡を密にとり退院して再びホームでの生活に戻れるように条件づくりを整えています。また、訪問看護を利用したホームでの医療支援も実施できるようにしています。     |                    | 引き続き、入院した際の情報提供及び退院後の生活環境づくりを、本人・家族・医療関係者等としっかり話し合い安心して戻ってこれるように努めていきます。                         |
| 47  | <p>○ 重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>                                   | 入居時に、重度化した場合における対応の指針について説明をし、同意書に記名捺印をいただいています。                                                      | ○                  | 重度化した場合や終末期のケアについて、本人並びにご家族と十分に話し合い、対応方針について共有できるよう努めていきます。また、緊急時の対応についてもあらかじめ本人・家族の意見を把握していきます。 |
| 48  | <p>○ 重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> | 重度化や終末期においては、本人・ご家族の意向を受けた上で、施設としてできること・できないことを明確伝えています。同時に連携している外部医療サービスを利用した場合での可能性も含めて相談・検討をしています。 |                    | 引き続き、本人・家族にとって一番いい状態になることを念頭に置きながら、介護として出来ること・難しいことなどをスタッフ全体で共有し関係者全体で支えていける体制づくりをすすめていきます。      |

| 項 目                                                                      |                                                                                                                      | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                          | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                          |
|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 49                                                                       | <p>○ 住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> | <p>病院への入院や他の施設へ転居される場合には、ご本人やご家族の了解を得て、施設での生活の様子や基本的な情報などを提供し、できる限り変化を小さくできるように配慮・工夫をしています。</p>          |                    | <p>引き続き、ご利用者の方が入院や転居など施設から出て生活される場合は暮らしの継続性が失われないように情報を提供していきます。</p>    |
| <p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p> |                                                                                                                      |                                                                                                          |                    |                                                                         |
| 50                                                                       | <p>○ プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>                                       | <p>コミュニケーションの中では、一人一人の尊厳を第一に考え、声をかける時は「さん」記録に残すときは「様」を使うことを徹底しています。プライバシーに関する考え方は、会議や申し送りの場等で伝えています。</p> | ○                  | <p>プライバシー保護に関するマニュアルを活用し、より正しく一人一人のスタッフに浸透して伝わるように努めていきます。</p>          |
| 51                                                                       | <p>○ 利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>                   | <p>本人にとってわかりやすい伝え方に配慮し、本人の希望が行動や判断・決定に反映されるように配慮しています。</p>                                               |                    | <p>引き続き話す言葉だけでなく、文字や写真なども用意しながら、本人から発せられる意思をキャッチできるよう努めていきます。</p>       |
| 52                                                                       | <p>○ 日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>                        | <p>一人一人の生活のパターンやリズムを大切にしながら、職員の都合が優先にならないよう生活づくりをしています。</p>                                              | ○                  | <p>より、本人主体の生活をスタッフが一丸となつてできるようにケアプランを充実させ、それぞれの希望に沿った生活づくりに努めていきます。</p> |
| <p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>                                     |                                                                                                                      |                                                                                                          |                    |                                                                         |
| 53                                                                       | <p>○ 身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>                                    | <p>理美容は、近隣のお店に出かけたり訪問のヘアカットの方に依頼したり本人の希望に沿って実施しています。外食に行く際にはお化粧をしています。</p>                               |                    | <p>引き続き、本人の希望を優先しながらおしゃれを楽しめるように努めていきます。</p>                            |

| 項 目                           |                                                                                      | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                             | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                       |
|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 54                            | ○ 食事を楽しむことのできる支援<br><br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 食事の準備は、野菜類を切るところから参加していただいています。食事のメニューは外部の事業所を利用していますが、誕生日や行事などではそれぞれの好きなメニューを提供するようにしています。 |                    | より、安心しておいしい食事が食べられるように、食事の質やメニューの内容を検討し工夫をしていきます。                    |
| 55                            | ○ 本人の嗜好の支援<br><br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している           | 入居の際にはそれぞれの嗜好の状況を本人・家族から伺い、希望に合わせて楽しめるようにしています。他の利用者の方に影響がある場合は、本人と相談し場所や時間を決めるなどの配慮をしています。 |                    | 引き続き、希望に合わせて支援をしていきます。                                               |
| 56                            | ○ 気持よい排泄の支援<br><br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している        | 本人の自尊心を大切にしながら、パットやおむつを極力使用しないようにしています。トイレが間に合わない方は、ポータブルトイレなどを使用しています。                     |                    | 引き続き、おむつに依存しないでトイレで排泄できるように声掛けや誘導支援をしていきます。                          |
| 57                            | ○ 入浴を楽しむことができる支援<br><br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 基本的には希望に合わせて毎日入浴可能ですが、現在は火・木・土・日に多くの方が入られています。入浴を嫌がる方もおり、誘えるタイミングで午前・午後問わず入浴ができるようにしています。   | ○                  | 入浴をしたがらない方への声かけや誘導の仕方を工夫し、清潔感のある生活作りが出来るように努めていきます。                  |
| 58                            | ○ 安眠や休息の支援<br><br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している                    | 居室は一人部屋になっており、本人の気分や状況によって自由に横になったり休息したりできています。                                             | ○                  | 自由を尊重するあまりに自室にこもりがちになる傾向がある方には、必要に応じて声かけを行いメリハリのある生活作りが出来るように努めていきます |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |                                                                                      |                                                                                             |                    |                                                                      |
| 59                            | ○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br><br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 生活の中で自ら自分の役割を見出し、食事作り配膳・洗濯物干し・掃除などを取組まれる方がおり、また職員が声かけすることで日々の生活の活動に参加されています。                | ○                  | 生活の中でグループで楽しめるレクリエーションを積極的に取り入れ、利用者同士の交流や会話がはずむような雰囲気作りに努めていきます。     |

| 項 目             |                                                                                                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                             | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                   |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|------------------------------------------------------------------|
| 60              | <p>○ お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>         | 本人及び家族の希望にあわせ、自分で現金を管理されている方がいます。ご自身で買い物に出かけた際に自分で適切に使われています。                               |                    | 引き続き、本人の希望や能力にあわせて金銭を自分で管理できる機会を作っていきます。                         |
| 61              | <p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>                           | 職員の体制等の都合もあり付き添い付きの外出の機会はなかなか希望に添えていませんが、自分で外出できる方は近所に散歩に出かけるなど自由に外出できています。                 |                    | 自分の足で出かけることが困難な方の外出機会の保障をご家族と協力して検討していきます。                       |
| 62              | <p>○ 普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>        | 年間に1～2回外出として動物園やなばなの里などに外出することがあり、家族も参加されています。                                              |                    | ご利用者それぞれのニーズをしっかりと把握し、「行ってみたいな～」の気持ちを大切に外出機会を作っていきます。            |
| 63              | <p>○ 電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>                                  | 手紙や電話は希望に応じて自由に出来るようになっていきます。電話は自室に引き込まれている方もいます。                                           |                    | 引き続き、ご利用者が希望したときに連絡が取れるように、家族側の都合も考慮して調節支援をしていきます。               |
| 64              | <p>○ 家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>                   | 基本的に馴染みの方の訪問に制限は無く、来客の受け入れを行っています。ゆっくりしていただけるように、自室やリビングでのお茶の提供をしています。                      | ○                  | 訪問者がまた来たくなる様に、元気な挨拶と明るい雰囲気作りに努めていきます。                            |
| (4) 安心と安全を支える支援 |                                                                                                     |                                                                                             |                    |                                                                  |
| 65              | <p>○ 身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | 基本的には身体拘束に該当するケアは行っておらず、該当しやすいケースはその都度管理者からスタッフへ指導を行っています。身体拘束防止のマニュアルをいつでも見られるところに保管しています。 |                    | スピーチロックなど知らず知らずに行われがちな事項も含め、介護保険法指定基準が職員全員が遵守できるように研修や指導を行っています。 |

| 項 目 |                                                                                       | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                     | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                             |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 66  | <p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>     | 原則的に玄関には鍵をかけないでケアをしています。ご利用者が自分の判断・希望で鍵をかけることはありますが、スタッフからはかけることはありません。             |                    | 鍵かけによる対応の弊害を職員間でも十分に理解し、その上で鍵かけをしないケアの実践を引き続き行っていきます。                      |
| 67  | <p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>              | 原則的に介護スタッフは日中・夜間を通じて常に対応できるように配置しています。                                              |                    | 夜間も含め少ないスタッフでも万一のときにあわてず対応できるように、日ごろからの安全確保の意識を職員個々が持てるように取り組んでいます。        |
| 68  | <p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>        | 包丁など危険のともなうものは、別で保管し管理しています。危険なものは何でもなくすのではなく、安全に使用できるようにスタッフがそばにつくなどの対応に心がけています。   |                    | 一人ひとりの状態に合わせてその変化に適切に対応できるように日頃からその備品が危険ではないかどうかを考えて使用・配置するように心がけていきます。    |
| 69  | <p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>     | 事例などから学びあい改善できるように、事故報告及びひやりはっとは記録として残し検討の材料にしています。                                 | ○                  | 事故を未然に防ぐ取り組みとして、ここで起きた事故だけでなく他の事業所の事故例なども参考にしながら職員間での研修の機会を作っていきたいと思っています。 |
| 70  | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>               | 応急の対応が出来るようにAED及び心配蘇生法の訓練を施設内で実施しました。また、応急手当を相談できる先として、提携医や訪問看護師への緊急連絡できる体制をとっています。 |                    | 職員が、一次救命としての応急処置が出来るようマニュアル及び訓練の実施をすすめていきます。                               |
| 71  | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | 震災など大規模災害時は施設の1Fを開放する等地域の方と連携して災害にあたるよう、運営推進会議等ですすめています。                            | ○                  | 実際に起きたときに供えた想定訓練を繰り返す中で、職員がいざというときに何をすべきなのかを把握できるように努めています。                |

| 項 目                        |                                                                                                                                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                   | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                                      |
|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 72                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○リスク対応に関する家族等との話し合い</li> </ul> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p> | いざというときのどのような対応を希望するのか、契約等の際にそれぞれの家族から意向を伺い把握するように努めています。                         | ○                  | リスクに対応するそれぞれの意向を書面で取り交わし確認できるようにすすめていきます。                                           |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |                                                                                                                                    |                                                                                   |                    |                                                                                     |
| 73                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○体調変化の早期発見と対応</li> </ul> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>           | 体調の変化に迅速に対応できるように、体調不良者には複数の職員の目で確認し、気になることがある場合には速やかにDrや看護師に連絡・相談するように体制をとっています。 |                    | 引き続き、体調の変化に対する見守りや対応を丁寧に行い医療機関との連携を図りながら対応をすすめています。                                 |
| 74                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○服薬支援</li> </ul> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>       | 薬は処方箋が常に新しいものを確認できるようにしており、変更があった場合は申し送り内容を把握できるようにしています。                         | ○                  | 薬に対しての知識や意識がより高まるように、外部の研修に参加したり職員間で薬について学びあえる機会を作っていきます。                           |
| 75                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○便秘の予防と対応</li> </ul> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>         | 排泄の管理が必要な方は、排泄チェックをとり排便の確認をしています。必要に応じて食事に乳製品を多めにしたり、整腸剤を使用したりしています。              | ○                  | 排泄について便秘に対する理解をし、その上で対応できるよう学べる機会を作っていきます。また、体を動かす機会を増やし便秘の予防に努めていきます。              |
| 76                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○口腔内の清潔保持</li> </ul> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>                   | 口腔内を把握できるよう、訪問歯科にチェックをしてもらい一人ひとりに合わせたケアの仕方の指導を受け実践しています。                          | ○                  | 自分で歯磨きをされる方の確認や支援が十分に行えていないことが多いため、本人のプライバシーに配慮しながら口腔内の清潔が保たれるよう支援していきます。           |
| 77                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○栄養摂取や水分確保の支援</li> </ul> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>      | 毎食食事の摂取量について記録をとり把握に努めています。食事を欠食したり十分に食べられなかった場合にはおやつや補助食品等で補えるように配慮しています。        | ○                  | 自分から水分を取られない方が多く、水分不足の傾向があるのでいつでもそれぞれの好みに合わせた飲み物を提供できるように、また意識的に水分を採って頂くように努めていきます。 |

| 項 目                                                   |                                                                                                                       | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                    | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                                        |
|-------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 78                                                    | <p>○ 感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）</p>                                         | 入居時には感染症の検査を義務付けており、入居後にも予防接種が可能なものは予防接種を実施しています。毎日の消毒清掃等は行っていません。 | ○                  | 日頃からの衛生管理（清潔を保つ）が不十分な点が多いため、日々の清掃から徹底して実施していきたいと思います。                                 |
| 79                                                    | <p>○ 食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>                                        | 調理道具は洗剤で洗った後に食器乾燥機にかけて出したままにせずしもうようにしています。食材は業者を利用し冷蔵庫で保管しています。    | ○                  | 食材を冷凍や出来合いのものをなくし、手作りの食事が提供できるように努めていきます。また、食材のあまりがたまっていかないように計画的に利用して無駄の無いようにしていきます。 |
| <p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p> |                                                                                                                       |                                                                    |                    |                                                                                       |
| 80                                                    | <p>○ 安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>                              | グループホーム専用の出入り口があり、インターホンで出入りが出来るようになっています。                         | ○                  | 明るく、清潔感のある玄関回りになる様に環境づくりに努めていきます。                                                     |
| 81                                                    | <p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | 共有スペースは明るい雰囲気ですぐしやすいうように花を多く置くようにしています。                            | ○                  | 季節感を意識した雰囲気作りや居心地のよいご利用者の方が好む音楽などをかけるなど、共有空間に来たくなるような工夫をすすめていきます。                     |
| 82                                                    | <p>○ 共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>                              | リビングには食卓テーブルだけでなくロングソファや一人がけのソファなど気分や状況に応じて居場所を自由に選べるようになっています。    |                    | それぞれが、自分の行きたいところでリラックスして過ごせるように配慮していきます。                                              |

| 項 目                    |                                                                                                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                               | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                               |
|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|--------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 83                     | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | 居室の構成は本人にとってなじみのものから、使い慣れたものを持ち込んで生活できるようにしています。              | ○                  | 本人らしく過ごせるように、入居後も過ごしやすい生活環境になるよう配慮していきます。                                    |
| 84                     | <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>         | エアコンを使用し本人が好む快適な温度で生活をしていただいています。                             | ○                  | 外気との温度差が大きくなってしまったり、空気がこもっている事もあり、本人の了解を得た上で定期的な喚起や温度設定に努めていきます。             |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |                                                                                                    |                                                               |                    |                                                                              |
| 85                     | <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>                 | 建物内は手すりがあり、歩行の不安定な方でも利用して自分で移動できる範囲は移動していただいています。             | ○                  | 身体機能が衰えた方が安全に入浴が出来るように、職員の支援技術だけでなくマットや手すりを適切に利用し、ご利用者が安心して利用できるように工夫していきます。 |
| 86                     | <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>                           | 認知症の進行や目が見えにくい方には、大きめの文字で表示したり本人に分かる目印を用意するなど混乱しないように配慮しています。 |                    | 引き続き、本人にとって安心して生活できるように環境面で分かりやすい工夫をするなど取り組んでいます。                            |
| 87                     | <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>                                   | ベランダがありますが洗濯物を干すことだけになっている事が多く、園芸などの取り組みは現在ほとんど出来ていません。       | ○                  | プランターなどを用意して季節の花々を楽しめるように環境づくりに努めていきます。                                      |

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

| . サービスの成果に関する項目 |                                                  |                                                         |
|-----------------|--------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 項 目             |                                                  | 取 り 組 み の 成 果<br>( 該当する箇所を○印で囲むこと )                     |
| 88              | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | ○ ほぼ全ての利用者の<br>利用者の2/3くらいの<br>利用者の1/3くらいの<br>ほとんど掴んでいない |
| 89              | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | ○ 毎日ある<br>数日に1回程度ある<br>たまにある<br>ほとんどない                  |
| 90              | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ○ ほぼ全ての利用者が<br>利用者の2/3くらいが<br>利用者の1/3くらいが<br>ほとんどいない    |
| 91              | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 | ○ ほぼ全ての利用者が<br>利用者の2/3くらいが<br>利用者の1/3くらいが<br>ほとんどいない    |
| 92              | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           | ○ ほぼ全ての利用者が<br>利用者の2/3くらいが<br>利用者の1/3くらいが<br>ほとんどいない    |
| 93              | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                     | ○ ほぼ全ての利用者が<br>利用者の2/3くらいが<br>利用者の1/3くらいが<br>ほとんどいない    |
| 94              | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            | ○ ほぼ全ての利用者が<br>利用者の2/3くらいが<br>利用者の1/3くらいが<br>ほとんどいない    |
| 95              | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ ほぼ全ての家族と<br>家族の2/3くらいと<br>家族の1/3くらいと<br>ほとんどできていない    |
| 96              | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                 | ○ ほぼ毎日のように<br>数日に1回程度<br>たまに<br>ほとんどない                  |

| 項 目 |                                                         | 取 り 組 み の 成 果<br>( 該当する箇所を○印で囲むこと )                                                                                                       |
|-----|---------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大いに増えている</li> <li>○ 少しずつ増えている</li> <li>○ あまり増えていない</li> <li>○ 全くいない</li> </ul>                   |
| 98  | 職員は、生き活きと働けている                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ほぼ全ての職員が</li> <li>○ 職員の 2 / 3 くらいが</li> <li>○ 職員の 1 / 3 くらいが</li> <li>○ ほとんどいない</li> </ul>       |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ほぼ全ての利用者が</li> <li>○ 利用者の 2 / 3 くらいが</li> <li>○ 利用者の 1 / 3 くらいが</li> <li>○ ほとんどいない</li> </ul>    |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ほぼ全ての家族等が</li> <li>○ 家族等の 2 / 3 くらいが</li> <li>○ 家族等の 1 / 3 くらいが</li> <li>○ ほとんどできていない</li> </ul> |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)